

情報データ科学部 小林 透教授が CANDAR2021 で Outstanding Paper Award を受賞！（2021年11月）

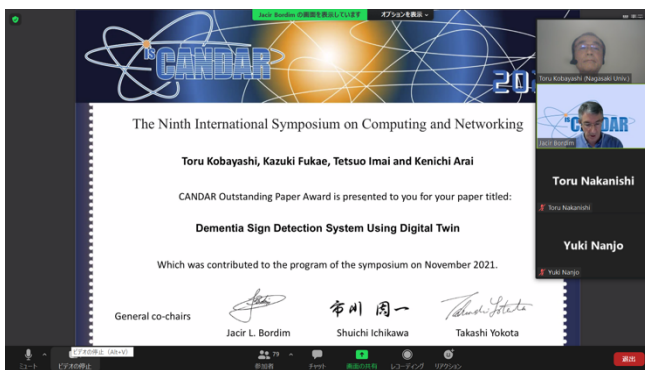
長崎大学情報データ科学部の小林透教授が、コンピューティングとネットワーキングに関する国際会議である CANDAR2021 (The Ninth International Symposium on Computing and Networking 2021) の Main Track (本会議) で発表した論文、「Dementia Sign Detection System Using Digital Twin」が Outstanding Paper Award を受賞しました。

Outstanding Paper Award は、CANDAR2021 の Main Track で発表された論文の中で優れたものに与えられる賞です。本研究は、高齢者の日常の生活行動を IoT と AI によりモニタリングすることで、認知症の予兆を早期に発見しようとするものです。これからの人生 100 年時代に向けて期待される研究成果の一つです。

CANDAR2021 は、2021年11月23日～26日の期間、島根県松江市で開催予定でしたが、COVID-19の影響により全てオンラインで開催されました。授賞式も11月26日の深夜、オンラインで開催されました。

※本研究の遂行に当たっては、長崎大学病院脳神経内科の辻野彰教授、宮崎禎一郎助教より医学的見地から有用なアドバイスをいただきました。本受賞に際し改めて感謝いたします。

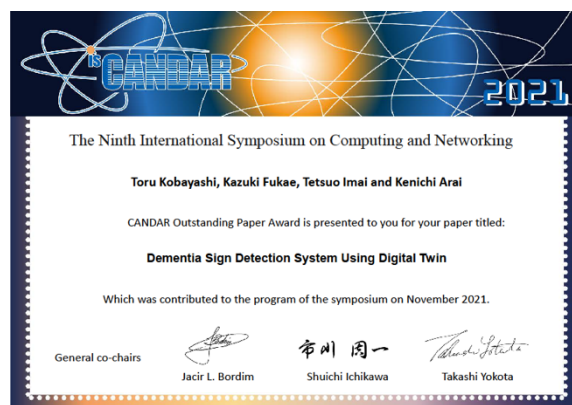
<https://is-candar.org/awards> (CANDAR2021 HP> Awards)



授賞式の模様（Web画面）



左から、共著の荒井准教授、小林教授、同じく共著の今井先生、深江さん



賞状